

令和7年度 「小学生を対象とした建設業しごと体験会」を開催しました。 ～ひがししらかわ建設人材育成事業～



1. はじめに

令和7年度「小学生を対象とした建設業しごと体験会」を開催しました。
この取組は、小学生を対象に、建設業の様々な仕事を体験していただくことで、建設業の魅力を伝え、興味や関心をもってもらい、将来の建設業を担う人材育成を目的としております。
今回は、鮫川村立鮫川小学校の5・6年生（35名）に体験していただきました。



2. 体験会内容

- 日 時：令和7年11月19日（水）8:50～11:40
- 対象小学校：鮫川村立鮫川小学校
- 参加人数：5・6年生35名、教師等3名 計38名
- 体験場所：鮫川村立鮫川小学校（校庭）

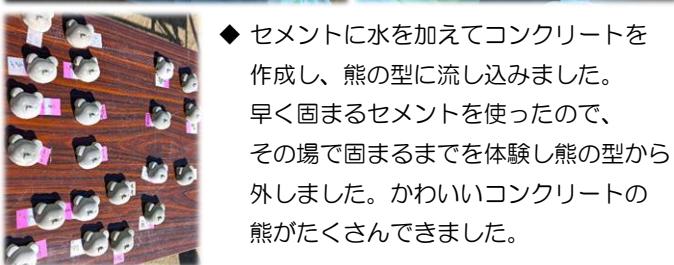


3. 体験会状況



4. 各体験の様子

体験① コンクリートを作ってみよう！



- ◆ セメントに水を加えてコンクリートを作成し、熊の型に流し込みました。早く固まるセメントを使ったので、その場で固まるまでを体験し熊の型から外しました。かわいいコンクリートの熊がたくさんできました。

体験③ ミニバックホウに乗って操縦してみよう！



- ◆ ミニバックホウに試乗しました。
- ◆ バックホウの操縦席に乗り係員の指導の下、自分の操縦でショベルを上下に動かし砂場の砂をくって、埋められているボールを掘り出したり、その土をならしたりしました。
- ◆ 楽しみながら操縦の難しさを体感しました。

体験④ ドローンを操作してみよう！



- ◆ スマートフォンを使ってお友達の周りを一周撮影すると、撮影されたお友達が3Dでモニターに映し出されます。
- ◆ 測量機を覗くと肉眼では見えないほど遠くのクイズや間違い探しのがはっきり見え、驚きながら元気に答えました。
- ◆ 測量の新しい技術に驚いていました。



- ◆ ドローンの説明を熱心に聞き、自分で操縦しました。
- ◆ 風にも負けず、慎重に操作し、無事着陸に成功しました。
- ◆ ドローンの操縦技術も建設業に役立つことを楽しみながら知ってもらいました。

5. アンケート (抜粋して掲載しています。)

ドローンを操作されたのが特に好きで楽し
かったです。操縦の方法を汽車を引けるよ
うにことをくわしく教えてください。
わがりやすかったです建設業に興
味をもつたのも、つい3ヶ月間でみたいと
思いました。



コンクリートを作ったり、ミニバックホウや
ドローンを弄したり新しい体験が出来
ました。スマートフォンをあててはかる
体験がとくに早かったです。ドローン
もそろそろはまづかしいけれどもありがとうございました。



全ての体験が楽しかった。しかし、むづかし
かったので、上手にやって仕事をしている人
はすごいなと思った。建設業の
むづかしさを知ったため、建設業を行
く未いき人に感謝されて生活したい。

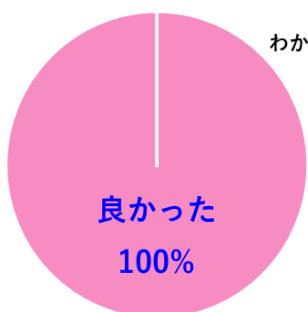


今まで一つの目標にしか進んでなかたけど、今日の
見学会と体験をして建設業の仕事に少し興味を持ちました。
これから的生活や学習は、建設業の大変さを教えるから生活や学習を
したいです。今日はほかなかでできない体験や見学をさせていただき
ありがとうございました。すごく楽しかったです。

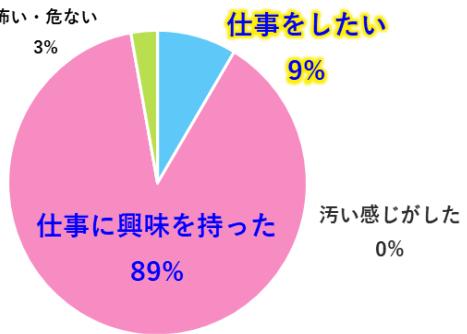


ミニバックホウの、たからさがしが、とても楽しかった
コンクリートは、どのようにして作られているのか知れ
きょうなたいけんができる、とてもうれし
かったし、このような仕事に興味を
持ちました。ありがとうございました。

Q 見学会の内容はどうでしたか？



Q 建設業の仕事について
どんな印象を持ちましたか？



今回の現場見学会が、
子どもたちに建設業の魅力を
知ってもらい、
興味をもってもらう
きっかけになればいいね！



ほかにも、たくさんの方から感想をもらいました。子供たちの感想は、大人たちの感性にはないものもあり、
気づきを与えてくれるもので、楽しく興味を持って読ませていただきました。

このように子供たちが楽しんで参加し、様々な視点から建設業に興味や関心をもってもらえたことは、

建設業全体の励みになります！

～開催にあたり、福島県建設業協会県南支部のご協力をいただきました～



【問い合わせ先】

福島県県南建設事務所

(担当者) 主幹兼企画管理部長 柳沼 威 電話: 0248-23-1603 (直通)